



KIN-BALL[®] sport NEWSLETTER

ご挨拶

一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟 理事長 高見 彰



—日本男子チームがワールドカップで金メダルを獲得—これが2015年度の最大のトピックです。これまでの大会では常に準優勝で、届きそうで届かない恋焦がれたメダル。あらゆるものを犠牲にして優勝を目指して頑張ってきた選手に、理屈ではなく金メダルを取らせてあげたいと長い間思ってきました。やっと男子が夢を実現しました。2017年に東京で開催されるワールドカップでは男女ともに金メダルがとれるよう私たち役員やスタッフがこれまで以上に選手を支えていく所存です。皆さま方のご支援も選手たちの力になります。今まで以上のご支援よろしくお願ひいたします。

さて、本年12月にアジアカップを大阪で開催します。アジア連盟設立後の初の国際試合ですが、アジアの仲間がキンボールスポーツを通じてひとつになる、とても意義のある大切な大会であると考えます。選手と市民の交流も検討しており、2017年ワールドカップ東京大会とともに、このスポーツの素晴らしさを一人でも多くの方に知ってもらう機会にいたします。

また、普及活動では全国指導者講習会に加え、スポーツ推進委員の方々への講習会も予定しています。若い世代、特に大学生に普及を図る事業も計画しております。キンボールスポーツの持つ生涯スポーツとしての価値を多くの方々を知っていただくために地道な普及活動を行ってまいりますので応援よろしくお願ひいたします。

悲願達成 金メダル! — 日本男子チームの快挙 ワールドカップ 2015

8月18日(火)から22日(土)にかけてスペインで開催された第8回キンボールスポーツワールドカップ2015において日本男子チームが金メダルを、女子チームが銀メダルを獲得しました。日本代表選手選考から技術指導、大会での選手フォローと約2年間代表選手に寄り添ってきたお二人に今大会の感想を聞きました。

〈総監督 黒川道子〉

今回のワールドカップを振り返って浮かんでくる言葉は「感謝」の2文字です。日本から熱い応援を送っていただいた皆さま、日ごろより支援していただいた皆さま、そして選手、選手を支えるご家族、素晴らしいスタッフ。たくさんの皆さまの思いが男子優勝、女子準優勝という快挙に導いてくれたと思っています。ルールの変更等もありました。しかし、日本チームは常に自分たちの実力をしっかりと出し切ってきました。そこに結果があります。これからも彼ら日本キンボーラーの情熱がこの競技をさらに魅力あるものにしていくことと固く信じています。最後に、皆さま方の応援本当にありがとうございました!

〈男子チームヘッドコーチ 石川剛史〉

今回、ワールドカップに臨むにあたり日本チームとしてこれまでにない質、量の合宿を行いました。各国に評価をいただけてきたフェアプレーの精神や日本のプレースタイルであるスピードと守備力の

向上はもちろん、どのような場面にも対応できる攻撃パターンを増やすなどチーム一丸となって取り組みました。

大会では予選を含め、慣れない環境やワールドカップという



プレッシャーの中、厳しい局面においても集中を切らさず一つ一つのプレーを着実につなげ、勝利を勝ち取ることができました。

準決勝においてカナダが敗退するという結果となった時、動揺が走ったのは事実です。しかし、それをしっかりと受け止め、自分たちの目標である世界一、金メダルのために今何をすべきかをチームで確認し、気持ちの整理を行い決勝に臨むことができました。

最後のヒットが決まった瞬間、選手は最高の顔をしていました。と同時に会場から湧き上がる「ニッポンコール」。言葉にならない程の感動でした。表彰台の一番高いところで聞く国歌は最高のものでした。

日本チームにとって悲願であった金メダルを獲得できたことは選手たちの努力の結果はもちろんのこと、男女一丸となったチームJAPANの結果だと思っています。そして、合宿時より全国のキンボールスポーツ関係者の皆さまからいただいたご支援やご声援が何よりの力となりました。全ての方々と一緒に勝ち取った金メダルだと思っています。次回東京開催のワールドカップでは男女ともに金メダルを獲得できるよう更なる精進をまいります。今後とも、チームJAPANへのご支援、ご声援をお願いいたします。